

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	WALLESS ACADEMY 永平寺		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 18日		～ 2025年 2月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36	(回答者数)
○従業者評価実施期間	2025年 1月 18日		～ 2025年 2月 8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	マンツーマンの関わりの中で本人の強み、苦手に気が付く環境提供	ご家族からの主訴や発達検査等を踏まえながらも、マンツーマンの中での関わりで継続してアセスメントを実施し、「強み」「弱み」を見立てて支援、強化に取り組むこと。	全体での研修、個々の研修等の研鑽を積んでいき、さまざまな観点での見立てを立てる力を向上させていく。
2	多種多様な専門的資格保持者及びさまざまな経験を持ったスタッフの関わり	1人のお子様に対して数人のチームでアプローチをすることにより、様々な支援方法を共有していくように取り組む。	支援後の記録を共有したり、ミーティング等の開催、その都度支援者同士がお子様の課題に向き合える環境を整備していく。
3	園や移行先の学校等との連携	本人やご家庭を中心に添えて、その周囲の環境を整備していくことで本人にとって適した環境を整えていく。	単なる情報の共有連携だけではなく、それぞれの機関の役割を明確化していくことを心がけていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援方法や見立て等をさらに向上させていくための環境整備	支援に向き合う時間が中心となり、子どもの課題について共有するために時間確保が難しい。	1ヶ月や年間予定の中に共有カンファの時間を事前に設けておくことで対応していく。
2	園、学校等での集団での具体的な行動支援	マンツーマンで大人との関わりが中心である中、実際の集団生活で子どもでの対応方法をその場で伝えることはできない。そのため、SSTとして一緒に確認をしていくが、それをリアルタイムに汎化していくことが難しい。	ご家族や相談員、お子様の所属先機関との情報共有をしていく中で集団の中での課題を共有し、支援の中に入れていくことを実施する。
3	支援スキルの向上及び研修等の体制整備	通所されるお子様への支援に追われていくことが多く、社内研修や一人一人の子どもへの課題を共有したり、支援方法を協議することが難しい。	事務的な作業について事務スタッフに任せ、子ども支援に関して協議するなどの時間を確保する。計画的に研修計画を立てること及びキャリアパスをさらに見える化をしながら計画的な研修、資格取得等ができる体制を整備

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 WALLESS ACADEMY 永平寺

公表日 年月日

利用児童数 36

回収数 27

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24	1	0	2	基準を知らないため	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	22	1	0	4	7月から通い始め、少し慣れて楽しそうにしていたが、急に先生がかわり、また慣れるまで少しかかっていたようでした。 基準を知らないため 座学には丁度良い広さだと思う、運動するにはスペースが足りない。 サービスを受ける側としては問題を感じません。	児童福祉法の配置基準及び加算基準に照らし合わせて行くこと及びマンツーマンによるさらに丁寧な関わりができるよう体制を整えています。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	25	0	0	1	建物がコンパクトで子どもでも分かりやすい部屋の配置なのが良い。階段はやや急である。	1階にて障害特性及び発達年齢に合わせた支援空間を整備。ご利用される方に合わせて2階と1階の利用を検討していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	27	0	0	0	必要十分なものの配置で心地よい。未使用の部屋のドアを開放している所が良い。	子どもたちやお待ちになられるご家族に少しでも快適に過ごしていただけるよう継続して環境整備をしていきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24	2	0	1	丁寧に細かく見て頂き、理解して下さっているのが分かる。	子どもたちが持つ特性だけではなく、その子自身の個性を見つめる視点を忘れず関わっていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	27	0	0	0	分析の結果と本人の理解しやすさを合わせて支援して下さっている所がそう感じる。	事業所としての支援プログラムだけではなく、個々の子どもの支援の充実や理解をさらに進めていきます。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	24	1	0	2	分からない所見える化して下さっている。本人の漢字への見え方が少し変わった気がする。	定期的にご家族と学校等での環境での様子を伺いながら継続して計画作成及び支援を継続します。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23	2	0	2	ガイドラインを見て、計画と比較したことがないため 今のところ気になる点はありません。	個別支援計画において、ガイドラインに沿った項目を設け、本人への支援だけではなく、ライフステージの移行にそって環境調整へも参加させていただきま
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26	1	0	0	されていると思います。	子どもの成長は刻々と変化してきます。定期的な計画作成だけではなく、子どもの成長に沿った支援を心がけていきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24	1	0	2	毎回、工夫された内容で本人も意欲を持って通所しています。	ご利用が続く中で継続して実施するフレームを設けながらも、刻々と成長、変化する子どもに合わせた支援を心がけていきます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	6	2	6	13	今のところはありません。	現在はマンツーマンでの支援をし、地域の中で汎用化していけるよう支援を実施しております。
保 護 者 へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	27	0	0	0		ご契約時に説明する際、できるだけわかりやすい説明ができるよう努めています。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	27	0	0	0		計画説明に加えてご利用後の支援報告書にても継続して内容についてはご報告させていただきます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	24	1	1	1	ぜひあると良いと思います。	族むけの研修会等を開催しております。また、取り組みについて周知させていただきま
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	21	3	1	2	私(親)の性格の都合上、人と話すのが苦手、全てはうまく話せていないのかもかもしれません。	ご家族の思いやお困りごとについて支援時だけではなく、ご希望に合わせて定期的な面談を設置しお話を伺える機会を設けていけるよう努めます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24	3	0	0	まだ入りたてなので、これからあるのかなと思っています。 頑張りましょうというような事を言われたいのが助かります。	ご家族のお困りごとや心配事について定期的な面談だけではなく、公式ラインでご連絡をいただければ、お時間をいただき一緒に考えさせていただければと思います。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	26	1	0	0	否定されることなく、そうなんですと聞いて下さるので助かっています。	ご家族、学校等にて日々お子様の成長に携わる人たちの気持ちに寄り添っていただけるよう努めています。

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	3	3	10	どちらもあると良いです。	保護者会等は現在実施しておりません。ただし、同年代の家族がどのような対応をしているのか知りたいなどのお声があります。福井事業所にて「ペアトーク」を開催したことがあります。今後も開催について検討していければと思います。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	1	0	3		ご家族からご不安やご心配なことがあった際にご連絡をいただき面談を設けることがあります。定期的な面談の際にもそのような対応ができることを必要に応じて周知できればと思います。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25	0	0	0	1時間の後に、今日の様子を教えて下さるので良いと思います。	紙媒体で支援報告を送らせていただきます。ご家族や学校等との共有に使っていただければと思います。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	21	0	0	4	LINEで時々いただいています。多すぎないのありがたいです。	スタッフブログや研修開催などを今後も継続してお伝えしていければと思います。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	26	0	0	0		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	1	1	12	訓練は今のところありません。	事業所にてマニュアル整備、訓練等を開催しています。安心してご利用していただけるよう継続していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	3	1	14	訓練は今のところありません。	事業所内にて非常時の対応について訓練を実施しております。非常時に備えて対応を継続していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	2	1	5	周知などはないかと思いますが、安全に支援はされていると思います。	支援実施上安全には配慮しておりますが、危険予知について記録をしていき継続して改善をしていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	2	0	9	今のところ発生していません。	支援中に万が一事故等があった際の緊急連絡先や医療情報を初回契約時に確認しております。ただし情報の更新がなされていないケースもありますので、定期的に確認更新ができる体制も整えていきます。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	26	0	0	0	楽しんで行っています。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	22	3	0	1	楽しんで行っています。毎回楽しそうに通っているので安心して送り出せます。	子どもたちが笑顔で通所し、笑顔で帰っていく姿を見せてもらっています。子どもたちにとって待ち遠し場所であり続けられるよう努めていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	26	0	0	0	支援経過の書面がすごく分かりやすく、助かります。ありがとうございます。できる限りやって下さっていると思います。子どもとの愛着形成を学べる会があると良いかな。支援後に先生から見て気になった事等があればその都度情報交換できればと思います。	支援後はお子様の様子や支援内容について報告書を作成し送らせてもらっています。子どもたちの課題は学校等の他の場所であることが多いです。子どもとの関わり方や学校での過ごし方など、研修会開催や学校等との会議にも参加させていただき、ウォレス以外の場所でも子どもたちが楽しく過ごせていけるよう努めていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		WALLESS ACADEMY 永平寺		公表日		2025年3月1日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	0	2		今よりも余裕を持った配置数であると、職員にも余裕が生まれると思う。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	0	1階の部分にも支援室を用意し、お子様の特性や成長に合わせて利用に活用している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	0			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	0		支援室から外に音が漏れてしまうことがあったため、工事を実施し対応した。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	1	定期的な面談を継続していく。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	0			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	0		年間を通して外部研修参加や講師に来てもらい研修を継続していく。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	2	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	0	システムを利用し、ケース記録や基礎情報、支援内容について共有できるよう整備している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	0			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	0			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	2	0			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	1	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	0	システムを利用し、支援内容や課題、お子様の情報について共有できるよう整備している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	0	2		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	2	0	支援ごとに記録を残し、スタッフ間で共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	2	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	2	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	1	1	定期的に参加し、学校等での情報について共有している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	0	移行支援会議や学校等での会議に定期的に参加している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	2	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	0	移行先の希望に沿ってこれまでの経緯が説明できるよう記録を整備している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	2		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	1	必要に応じて参加を継続している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	0		福井事業所にて開催されるペアトレ等の研修を継続して周知していく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	0		初回契約時にわかりやすく説明に努めている。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	2	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	2	0		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	1		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	1		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	2	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	2	0		